

てまり通信 第106号

2026年1月発行

寒い日が続いていますが、皆様、お変わりなくお過ごしでしょうか。2026年最初のてまり通信をお届けいたします。本年もどうぞよろしく願いいたします。（文 伊達敬子）

最新点訳案内

『ラジオ深夜便』11月号・12月号…NHK ラジオ番組の月刊誌から「アンカーエッセー」を点訳しました。

『らくらくクッキング』…11月号は寒い季節に試してみたい「豆乳ワンタン鍋」や市販の肉まんをアレンジした「肉まんピザ」などのレシピのほか、高知県の「ウツボ」や羽田空港のリニューアルしたフードコートの話を取り上げています。12月号では今日は何を作ろうかと迷った時に役立つ季節のちょっとした料理や旬の食材白菜を使った料理などを紹介しています。

『ねこのきもち』…11月号は「猫にご法度 12 カ条」で猫に絶対してはいけないご法度をもし破ってしまったら猫にどんなことが起きるか、また注意することなども解説しています。「飼い猫の運動量は、こうやって増やそう！」では猫の運動不足解消にちょっとした工夫で運動量を増やすコツを紹介しています。12月号は「愛猫が、冬モードに入りました！」で猫のさまざまな冬モードの秘密に迫り、寒い季節のお世話のポイントを紹介しています。

『いぬのきもち』…11月号は11月1日の犬の日に因んだ「特別企画 犬ってやさしい！」で人だけでなく、すべての存在を愛してくれる犬たちの優しさの理由やエピソードを紹介しています。12月号は「ホントのきもちの読み方」で飼主さんが勘違いしやすい犬の表情やしぐさの見極めのヒントやホントの気持ちを紹介しています。

『府中「第九」2025』プログラム…12月14日（日）に開催された「第20回府中市民第九演奏会」のプログラムを点訳しました。

『手打ち』…新聞記事から10月は「編集手帳」、11月は「よみうり寸評」を点訳しました。どちらかを同封させていただきました。

「日点講習会」について

てまりが点訳登録している日本点字図書館（日点）にて11月19日（水）開催の2025年度点訳者講習会に参加しました。昨年が点字考案より200周年、日点の創立より85周年ということで、「点字や日点のこれまでとこれから」についてお話を伺いました。デジタル化で情報収集が手軽になる一方、やはり点字は大切な情報手段だということを改めて実感した講習会でした。

てまり日和

私の故郷広島路面電車。車両数や路線の長さ、1日の乗客数は日本一！広島市民や観光客の重要な足として利用され、鉄道ファンには多様な車両が現役で走っていることから「動く路面電車博物館」とも言われているそうです。そんな路面電車の広島駅の乗り場が昨年8月3日に劇的に生まれ変わりました。駅ビルの2階部分にあるJR広島駅の改札口と直結したのです。

生まれ変わった路面電車は既存の軌道線ではなく駅前から延びる高架線が新設され、この高架線を走って駅の中へ消えていく光景、駅ビルの中から飛び出す光景はSF漫画のような雰囲気を漂わせているそうです。

JRと路面電車が直結したことで、乗り場がわかりやすく、市内への乗り継ぎもスムーズになり、観光客が平和記念公園、原爆ドームへも行きやすくなったのではないのでしょうか。戦後80年、8月6日の記念式典に合わせての生まれ変わりだったのでしょうか。

テレビで映像を見ながら路面電車通勤していた若かりし頃に思いを馳せた昨年の夏でした。

点訳ボランティアてまり 連絡先

てまりメールアドレス temari6ten@yahoo.co.jp

代表 石黒喜美子